

ふりがな 活動組織名	のうますためんてききのうくみあい 能增多面的機能組合				活動開始 年度	平成26年度
ふりがな 所在地	ひきぐん おがわまち おおあざのうます 比企郡小川町大字能増				現活動期間	R6～R10
交付金額(基本)	農地維持	597,500 円	資源向上 (共同)	0 円	資源向上 (長寿命化)	860,000 円

主な活動 又は 特色ある活動

小川町の北東部に位置する能増地域（能増、高見、鷹巣及び奈良梨）。すでに土地改良事業が終了している当地域の水田は、パイプラインによる送水と、暗渠及び柵渠による排水で貴重な農業用水の管理を行っている。一方で、水源は濁水に悩まされることも多い地域であるが、農業者が互いに協力し合いながら、市野川源流からの貴重な水を、ため池や貯水池で管理し、良質な米を生産している地域でもある。

平成26年10月、当地域の二つの水利組合（広町・宮原堰）を中心に発足したのが「能增多面的機能組合」である。恵まれた地域環境を適切に保全しつつ、更なる農業振興を図るため、組合では、ため池や農道法面、遊水地等の除草作業、農道の補修などの保全管理を定期的に行っている。また、今後の計画においては、可能な範囲において水路・排水路等の改修を通じて農業用施設の長寿命化を図り、よりよい農業環境の向上を目指していく予定である。このようにソフト面・ハード面から身の丈に合った諸活動を通じて、地域の農業者や関係者との協力のもと、地域の持つ潜在的な多面的機能の促進を図ってゆきたい。



(ため池周辺の除草作業)



(送水管(橋梁)の塗装作業)



(農道の補修作業)

今後の取組について

農道の整備やため池等の除草作業など、定期的に行っている作業は、地域環境を保全する具体的な取組として、毎年計画的に継続していく。一方、施設に関しては、遊水地の機械設備、地域内の水路・柵渠など老朽化が目立つものも見受けられる状況にある。適宜、優先順位や実施の可能性を見極め、できるところから改善を図っていきたい。

【認定の対象となる資源の状況】

田	畑	草地	用水路 (開水路)	用水路 (パイプライン)	排水路	ため池	農道
18.75 ha	1.75 ha	- ha	4,000 m	5,000 m	- m	3 箇所	3,700 m

【活動組織の構成員】

農業者	68 人	主な構成 団体名	広町水利組合、宮原堰水利組合、区域内土地所有者、耕作者 地域住民の方々(事業への協力者として)
非農業者	人		